



まつえだより



8月
August

歯周病がアルツハイマー型認知症の原因に!? 認知症の発症抑制に歯周病の予防を!!!

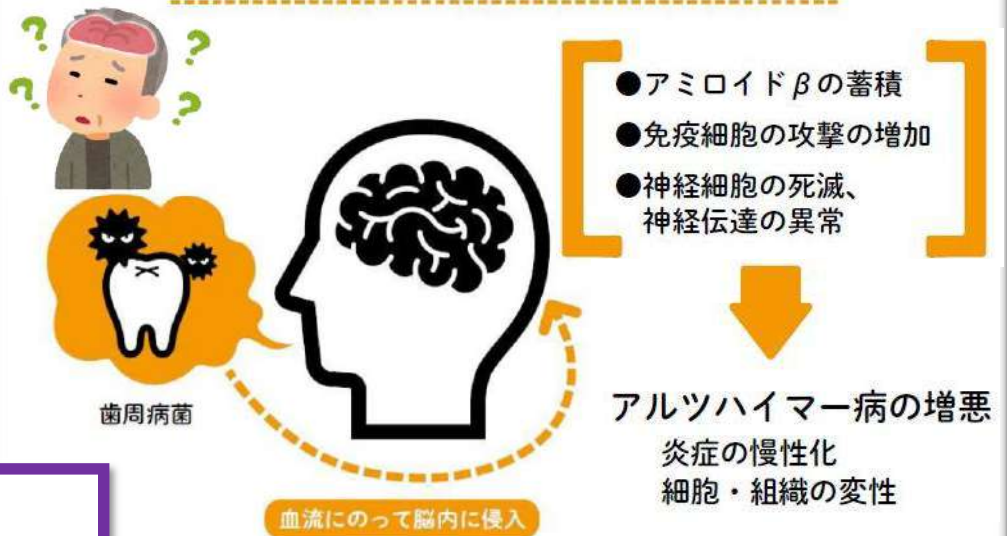
【近年報告されています】

歯周病を患っている人は認知症になりやすい。
歯周病を患っている認知症の患者さんは認知症の進行が速い。
なぜ、歯周病菌が認知症に関係するのか？

歯周病菌は、
口の中にある
だけでなく、炎症を
起こした歯茎が
腫れて出血した
粘膜から血流に
乗って体内へ入り
込み悪さをします。

感染症を引きおこす

歯周病でアルツハイマー病が悪化するメカニズム(仮説)



歯周病でアルツハイマー病が悪化する仕組み



特にアルツハイマー型認知症の原因物質の増加に関与する菌は腫れて出血した歯茎からの血液や浸出液が**大好物**！この菌が体内に入り、免疫細胞との戦いの末、異常なタンパク質が増え、脳内へ送り込まれ、神経細胞を傷つけ脳を萎縮させ、**アルツハイマー型認知症**を引き起こします。

定期的に歯科医院に通い、プラークや歯石を除去してもらいましょう



☎075-711-8241

ハニヨイ